

オープンキャンパス 2008 実験・実習体験コーナー 能動的な電子細胞 “ トランジスタ ”

トランジスタは、p型半導体とn型半導体で構成されています。その接合の順番によって、pnp型とnpn型の2種類があります。

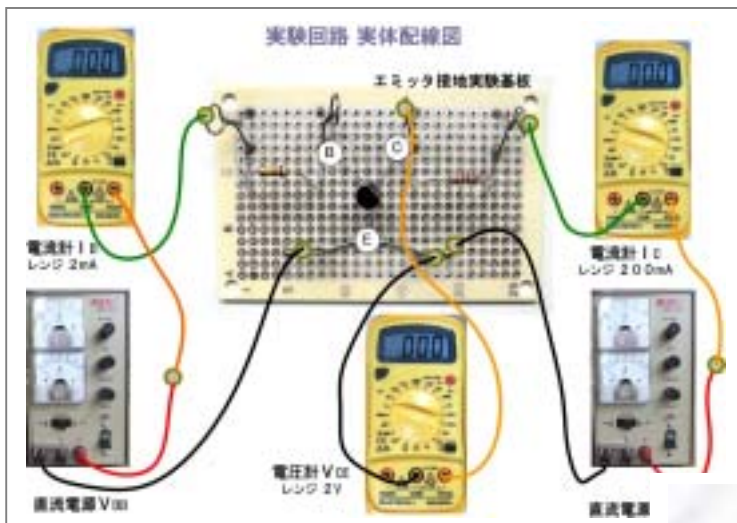
このコーナーでは、接合型トランジスタの基本回路の静特性について調べ、トランジスタの動作や使用方法に関する理解を深めます。

また、ブレッドボードを利用して、トランジスタ、抵抗、コンデンサ、LEDなどの素子を組み合わせて無安定マルチバイブレータ回路を構成し、LEDが点滅することを確認してみましょう。

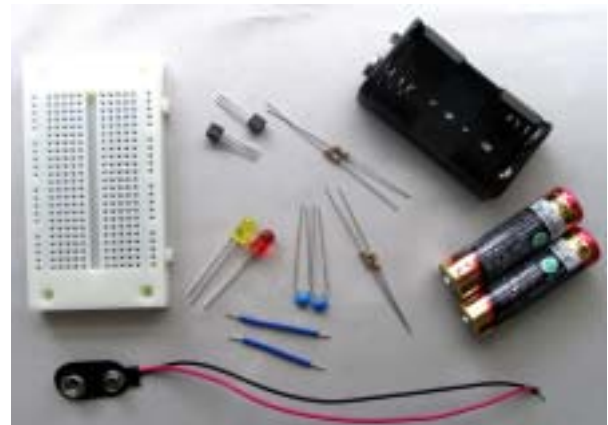


いろいろな形状のトランジスタ

トランジスタの静特性測定回路の例



みんなが作るLED点滅回路の例



LED点滅回路の全部品

会場：4号館中示範A教室

時間：

1回目 13:00~13:40

2回目 14:00~14:40

3回目 15:00~15:40

(行う内容は全ての回で同じです。)

各回とも先着30名様です。

昨年度「理科実験教室」として開催したプログラムは、今年度「実験・実習体験コーナー」と名称を変えて、昨年同様に技術部が担当しました。

今回は、電気電子工学科、情報科学科の学生実験のテーマの一つになっている「トランジスタ」の実験の触りの部分とトランジスタを用いた簡単な応用回路例として、LED点滅回路をブレッドボードを用いて構成し、動作の確認を行いました。

以下に、実験教室の様子を以下に写真で紹介합니다。

実験・実習指導

荒木 芳春 安全衛生・エネルギー管理

水沼 充 基盤技術室

羽賀 恵壽 基盤技術室

佐藤 典子 受講受付担当 基盤技術室

田村 恒一 企画連絡調整担当 機器開発技術室



実験・実習コーナー スナップ



